

暖房器具の事故

つけっ放しは危険

(2010年12月14日掲載原稿)

寒い季節が本格的にやって来ました。消費者庁には、すでに次のような暖房器具の事故情報が寄せられています。

電気あんかを今シーズン初めて使用したところ、あんかが焦げ、周辺の布団や毛布なども燃損した>就寝時に使用中の電気こたつから発火し、掛け布団が燃損した>電気毛布や湯たんぽを使用中に低温やけどした一など。

暖房器具などの使用に際しては次の点に気を付け、事故に遭わないようにしましょう。

①使用前

リコール対象製品ではないか新聞やテレビの広告に関心を持ち、メーカーのホームページでも確認する。

電気コードやプラグに変色や傷、破れ、断線などがあれば、使用しないで販売店やメーカーに相談する。

電源プラグにほこりがたまっている場合はよく掃除をしてから使用する。

②使用中

異音や焦げ臭いにおいがしたり、コードやコンセントが異様に熱くなっていないかを点検する。異常を発見したらすぐに使用を停止する。

③使用上の注意

暖房器具や電気調理器具をつけっ放しにしたままで、その場を離れてはいけません。特に電気調理器具は、熱源周辺が高温になるので注意が必要。

電気毛布や電気あんか、湯たんぽなどを、体の同じ場所に長時間接触させると低温やけどの原因に。使用上の注意をよく読んで正しい使用を心掛ける。

これらの事故やトラブルが発生した場合は消費生活センターに情報をお寄せください。